あなたの手を、世界の誰かに。
Sambot
セカンドハンド通信
2021 January
Vol. 103

Emergency Support
緊急支援

香川県子どもの未来応援ネットワーク（県社会福祉協議会）への支援事業

香川県社会福祉協議会を通じて香川県内の子ども食堂等への支援（寄付金・品物の提供）を始めました。セカンドハンドからの支援は、子ども食堂（現在新型コロナウイルスの影響で一部休止中）を利用している子ども達の持ち帰り用の食材、衣類、本、学用品の提供等に役立てられています。

担当者の声：乃万　由佳さん
（香川県社会福祉協議会　地域福祉課）
セカンドハンドからの支援はとてもありがたいです。「セカンドハンド＝海外支援」の印象がありますが、セカンドハンドのお店に、子ども食堂支援の募金箱が置いてあるのを見て子ども食堂の事を知ったという方や、子ども食堂支援を通してセカンドハンドに興味をもったという方もいて、お互いにとてもよい PR の場になっていると感じています。

品物の提供

子ども食堂への食材提供は、香川県社会福祉協議会へお問合せください。
電話 :087-861-0546

Special Thanks

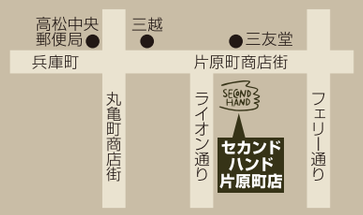
9月～11月までの3か月間にご寄付を下さった方々です。【順不同・敬称略】

青野千恵子、伊賀憲子、植村蓉子、大谷芳見、大廣智佳子、岡田博子、荻浦いく弥、片山績、兼田瑛子、川崎多恵子、木村明仁子、京香英、久保和子、黒田好子、小畑孝一郎、酒井はるみ、下地初子、白川ふみ、神内幾代、末澤一誠、杉田瑩子、高瀬稔彦、田中正利、俵恵美、塚田泰代、友近規、鳥かい歯科医院、長井栄子、長尾美和子、中澤力、中野光太郎、沼田章、のぞみ総合法律事務所、林純子、林陽一、福島美代子、藤原和子、細井香、堀具王、堀口公明、前田典子、升崎里美、松原志乃、松本崇臣、三木佳子、社会福祉法人みくに園　高田安司、山田久美、美濃吉広、宮本明宜、村上和代、山本博美、株式会社夢菓房たから、横田千春、吉本房子、高松ロータリークラブ、若杉淳子

Cambodia memo
カンボジア メモ
曜日ごとに色がある。月曜から順に、オレンジ、紫、緑、白、青、濃紫、赤。式典などに出席するときは、色を意識して服装を選ぶと Good！

本部・高松店　年末年始休業：12/26(土)～1/3(日)
〒760-0055 高松市観光通1-1-18
TEL：087-861-9928
営業時間：月～金　10時～16時
定休日：土曜、日曜、祝日

片原町店　年末年始休業：12/31(木)～1/3(日)
〒760-0040 高松市片原町9
TEL：087-822-3552
営業時間：月～金　10時～18時
土・日・祝日　10時～17時



松縄店　年末年始休業：12/31(木)～1/3(日)
〒760-0079 高松市松縄町37-5
TEL：080-4999-0494
営業時間：平日11時～19時　土日11時～18時
定休日：木曜、金曜、祝日

セカンドハンドは「チャリティーショップ」と呼ばれるお店を運営し、その収益でカンボジアの支援をしています

公益社団法人セカンドハンド　〒760-0055 香川県高松市観光通 1-1-18　TEL&FAX 087-861-9928
jimukyoku2hand@yahoo.co.jp　http://2nd-hand.main.jp/sh/

《新校舎完成！》2020 年、2021 年の 2 ヵ年で支援を行う、カンボジア・オーロムチェック小学校の現場から最新情報をお届けします。雨季でも毎日続けられていた建設作業のおかげで、無事に新校舎が完成しました。完成後の学校再開の様子や、子どもたちの喜びの声など、詳しくは次号でお知らせいたします♪

写真提供：シャンティ国際ボランティア会

Contents
JICA国際協力出前講座
セカンドハンド松縄店３周年
香川県子どもの未来応援ネットワーク
Special Thanks

新校舎建設のためにセカンドハンドでは 300 万円の支援を行います。この支援に寄付を通じてご協力頂ける方は、セカンドハンドのウェブサイトから PayPal にてご寄付頂くか、同封の払込取扱票をご利用いただき郵便局窓口にて振替口座までご送金下さい。

Human Resources Development
人材育成

JICA 国際協力出前講座

JICA 国際協力出前講座は、実際に途上国で国際協力に携わってきた講師がリアルな体験談を提供しています。2018 年 10 月よりセカンドハンドが JICA 四国から受託し、講座のコーディネート（依頼元との調整や講師の選定等）を行っています。依頼内容に応じて、セカンドハンド職員も講師を務めています。

対象

- 学校での ESD、SDGs、国際理解教育や人権教育、平和学習の一環として
- 団体のボランティア養成講座等の一環として
- 講演会や企業研修会での講義　など

内容

開発途上国での体験談やワークショップ等、ご要望に応じて講座内容をご提供しています。「世界がもし 100 人の村だったら」や「貿易ゲーム」等、よく知られたのワークショップの他、ご要望に応じて新しいワークショップの作成も行っています。事前の打ち合わせで依頼元のねらいを把握し、それに合わせた内容をご提案します。事前学習・事後学習のご相談にも応じています。

セカンドハンドが実施したワークショップの例

「文字が読めないとはどういうことか」実際に体験してみよう！

新聞を使って、自分たちと世界とのつながりを考えてみよう！

民族衣装（エクアドル・アンデス地域）の展示

ワークショップに参加した生徒の感想（一部抜粋）

世界にはいろんな人がいるけれど、生活に困っている人が意外と多くて驚きました。私たちはこうして普通に生活しているけれど、食べ物が少なくて困っている人たち、学校に行けず困っている人たちがいることも知りました。地域や国の違い、環境の違いもあるけれど、そんな事に負けずに頑張っている事に感動しました。それも私たちよりはるかに小さい子どもから大人まで労働させられて、十分にご飯も食べられない、社会の違いを実感しました。そんな事をなくすためには一人ひとりが一つ一つのことを、気を付ければいいと思います。例えば、限りある資源を大事にすること、物を無駄にしないこと、私自身もできることだと思います。世界で起こっている問題は、案外自分たちにも関係ある、ということを理解して生きていきたいと思いました。（中学１年生）

SECOND HAND 左ページの続き

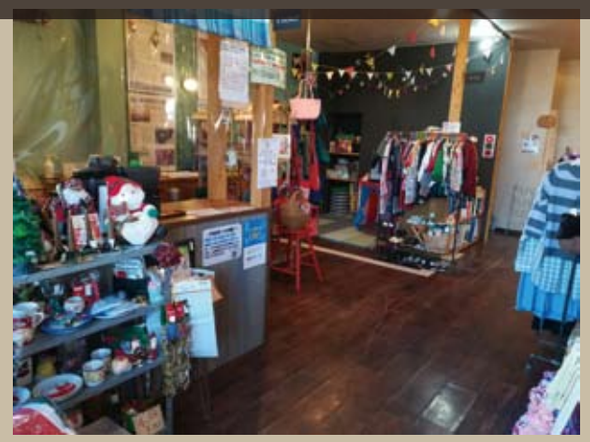
世界の環境問題や紛争、貧困状態にある子ども達について知ってはいるものの、あまり気にかけたことがないという生徒たちが、講座を受けた後、「困っている人がいたら声をかけ、助けを求めている人がいたら助けてあげたいと思った」、「世界には今にも死にそうな人がいるのだと考えると、命の尊さについて考えさせられた」等の感想を伝えてくれます。地球に住む私たち一人ひとりが問題の解決に向けた行動をしなくては解決できない、ということに共感し、自分たちの生活を振り返る機会となる講座を提供できるよう努めています。出前講座にご関心のある方は、お気軽にセカンドハンド事務局までお問合せください！

Secondhand Announcement
お知らせ

セカンドハンド松縄店 3周年を迎えました

松縄店では、お子様連れの方も気軽にお買い物を楽しんで頂けるようにと買い物スペースを広めに確保し、キッズスペースも設けました。このような大胆なスペースの活用は、セカンドハンド初の試みで当初は不安もありました。しかし、今では入店後すぐにキッズスペースへ直行する子どもたちもいて、私たちスタッフはその姿を微笑ましい気持ちで眺めています。

店舗オープン時に Instagram や Twitter も開設しました。目玉商品やイベント情報、ボランティアからの一言など掲載内容に工夫を凝らすことで幅広い世代へのアプローチが可能となりました。その効果もあり来店者数は徐々に増えてきています。お買い物や品物の提供でご来店頂ける方だけでなく、お店を盛り上げてくれるボランティアスタッフも増えました。どんな工夫をしたら商品を手に取ってもらえるか、足を運んでもらえるお店になるかなど、いろんなアイディアを出し合いながら、新しいイメージのお店作りに挑戦しています。



松縄店ボランティアの声：加藤さん（大学生）

ボランティアを探している際にセカンドハンドを見つけ、中学時代、学校でボランティア体験をしたことを思い出し、2020 年 11 月から松縄店でボランティアを始めました。私は大学生でアルバイトもしていますが、セカンドハンドは、自分の好きな時間に短時間でも受け入れてくださるので、とても参加しやすいです。また、気さくで優しいボランティアの方ばかりなので、いつも楽しく作業ができています。誰でも気軽に参加できます。私たちと一緒にセカンドハンドでボランティアをしてみませんか？